

576

六一五 受備二〇八一三五
丁二一三九 電〇七四〇三

航作概本〇

無線線艦所用共通符號

海軍總隊口。佐通。六航軍派遣通信隊

機密第一五一六三九番電

通報 一六五A・六P・五二A 各司令官 佐世保鎮守府司令長官

五A P 借電令作第四號

九州航空隊司令官ハ萬全ヲ期シ種子島基地ノ陸戰移轉準備ヲ實施スベシ

一鹿兒島航空隊派遣員全員及基地員(防空隊見張所ヲ除ク)ハ三分ノ二

ヲ鹿屋ニ復歸

二高角砲全數並ニ對空機銃半數ノ陸戰陣地主隊ノ半數ノ移轉準備

三糧食燃料六ヶ月分ノ集積

通八一七五 呂一三六十二(七八七五)一R R G D 放 官永(年)

昭和廿年六月拾六日

6-16

至急

六一六

受信一三五〇
開始一六五〇

譯了一九一五 電〇七八五六

作編本〇

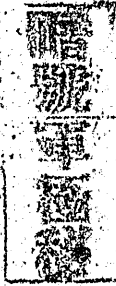
共符



古仁屋 航空基地

海軍總部隊指揮官・五航空艦隊P・佐銀P
六三四、九五一各航空隊

機密第一六〇八一〇番電



發 九五一空司令官

宛 九五一空古仁屋派遣隊指揮官

古仁屋派遣隊ハ天賦作戰開始以來募兵克ク熾烈ナル敵ノ空襲下多大ノ困難ヲ克服而シテ粉骨碎身晝夜兼行ノ努力ヲ以テ進駐航空部隊ノ作戰ニ協力基礎任務ヲ完遂シツツアルハ大ニ可ナリ虞フニ南西諸島

通八六五一

呂一Bケ一二(九八三〇)C(佐二放 川井(細川)

昭和廿年六月拾七日

方面ノ戦況ハ更ニ重大ノ度ヲ示シ古仁幕派遣隊各員ノ挺身奮闘ニ俟
ツ所感ヲテ大ナルモノアリ折角ノ戦闘ヲ望ム

(2)

6-16



六 一六 愛備三〇五六 壽了二一四五 電〇七九〇七六 謀 訊

開始二〇五五

局長							
A	天	K	勇				
B							
E	航	I	空				
J							
G							
F							

種子島航空基地

機密第一六一六〇四番電 二分ノ二

通報 六軍

捕虜情報 六月十六日 種子島飛行場 落下傘降下

一、四〇一搭乗員米海軍豫備中尉チドツクスウイリヤム二一歳

二、種子島詳細偵察ノ任務ヲ帯ヒ一〇三〇沖繩中飛行場發種子島西海岸

三、飛行場附近ニ侵入一二五〇墜陸左足關節貫通銃創顔面熱傷

四、サンデイゴ海兵隊ヨリ二ヶ月前便船ニテ「カルフォルニア」發

五、シャル硫黄島ニ寄港五月二十三日沖繩着

六、沖繩ニハ陸軍飛行隊一隊海軍飛行隊一隊 P-1 四七 P-1 五一 P-1 六五

七、四〇一 六〇一 B-1 二四 等一アリチ一隊ニハ戦闘機ヲ主

八、トシ約一〇〇機ニシテ尚伊江島ニハ陸軍機約二〇〇機アリ

九、通八八三四 八八三五 呂一Bケ十二(七八七五)C一KFGD放 久保田、大石

昭和廿年六月廿七日

9/16

六 一六 受備三二二二 譯始〇〇二八 譯了〇二二〇 電〇八一二六 謀訊

緊急

天航空部隊

種子島空基地

機密第一六一六一〇番電 二分ノ一

捕虜訊問情報 六月十六日種子島飛行場ニ落下傘降下

一、四〇一搭乗員米海軍後備中尉マドツクスウイリヤム二十一歳

二、種子島詳細偵察ノ任務ヲ帯ビ一〇三〇沖繩中飛行場發種子島西海岸

リ飛行場ニ侵入一二五〇墜陸左足關節貫通銃創顔面熱傷

一、電信課註 本電二分ノ二未着

通八九〇七 呂一Bケ十二(九八三〇RC)佐二放 クス本(川口)

昭和廿年六月廿八日

6-16

六一六 愛信二〇四三 譯了二一四〇 電〇七九二九 航作機本〇

作戰緊急

停

一機動基地航空部 大島 防空 機隊下

機密第一六一八三五番電

本日敵機來襲狀況稍活氣ヲ呈シ來襲セルモノ午前P1四七三四午後
P.四〇及P.六P.三二來襲主トシテ飛行場及同周邊部落ヲ猛爆敵機去來
方向何レモ南西 一七一五以後ヲシ
三戰果ヲシ 被害十二顆高角砲一直擊彈ノ爲大破 戰死下士官一 兵三
重傷兵七

一八〇〇

通八九五五

オ一六(七八七五K)一KFGB放

清水(川口)

昭和廿年六月拾七日

6-16

484T

六 一六 受信 = 二二〇 二二〇 二二〇 九二二 電 〇九七三三 作 概
至急心 誤始 = 二二九

休

着父島方面持戦斗機報告信艦所

母島警備隊

戦半運報(六月十六日)

機密才一六一八五五番電 二分一

一 (A) P 五二 三七機 二箇編隊 二分一〇〇ヨリ 一二五二五ヨリ

未襲 沖港銃爆要後南方ニ遁走セリ

(B) P 五二 一三機 一三七ヨリ 二〇分 未襲 硫黄島 方向ニ退去セリ

二 戦果 喪破 二機

三 被害 ナシ

二 電信線註 本電二分一 二既配
二 東通註 本電再送要ス 急遽送

通八九四三 口百斤一二(五二九机)母警 小本(青也)

昭和十一年六月十六日

6-17

作戰緊急

六 一七

受信一八五
開始一九〇五

了一九三〇

電〇〇八八四三三
電〇〇八四三四

作機〇

昭和廿年六月拾八日



大島防備部隊

喜界 航空基地

機密第一七一六四二番電

二分ノ一二

本日ノ來襲狀況〇九〇〇以後P四U四乃至八機終日本島周邊哨戒セ
ル外攻撃ニ來ルモノ午前P四U延二二機午後四機ノミ攻撃目標主ト
シテ海岸附近ノ艦船ニシテ投彈スズ銃撃ノミコノ外P一三八 二機
一一〇〇頃南方ヨリ來襲投彈後南方ニ去ル

三 戦果撃墜二機被害ナシ

三 敵ハ撃墜機アルトキハ直ニPBM 來リ救助作ヲ行フ此ノ時P四

U四機程度ヲ以テ煙幕濃張又ハ機銃高角砲陣地ノ地點附近海岸ヲ反
覆銃撃作業ノ授課ヲナスヲ常トス

四 一五三〇頃ヨリ天候雨トナリ敵機ヲ見ズ 六三〇

九四四三四 於一六七八七五(一)KFCB 小林・小野寺(吉田)

天 號

作戰要略



機密第一七一七四六番

東洋・海軍總隊上・天一號作戰部隊・二番支隊隊員・高雄根下
支那方面艦隊上・馬根下

局長	七
一課長	受領
A	三三
B	四六
E	四
J	四
四	八四七七
五	〇

航作機 〇

昭和廿一年九月十八日

軍令作第三七號

陸軍前偵ノ報告ニ依レバ十七日〇六〇〇那覇ノ二五〇度一五〇軒ニ

空母一ヲ伴フ敵艦隊約二〇アリ進路西速力七一五節へ東方及南方

ノ爲監視不能

九A B 指揮官ハ右部隊ヲ偵察スベシ

通九五〇〇 呂一〇ケ一二(九八三〇機) 佐二放 長尾(小林)

6~18

緊急

六八

受信。三三〇。 送信。四一〇。

誤了。五一〇。電。八六八五

作既 考本

昭和廿年六月拾九日

停

著

九空襲部隊

宮古航空基地

石垣航空基地

機密第一七一九三番電 二今一

石垣第五二航空隊戰鬥概報(六月十七日)

一〇六五(一七四) TBF 一 一八 F4F 一四 三二 計六〇架

襲主副滑走路銃爆魚

一、副滑走路被彈一而 發一九三。以降四〇。八〇。使用可能

二、陸軍飛行場被彈三發二〇〇。以降七〇。一〇〇。使用可能。

(電信課註 本電五分二末着)

通九六二六

呂(日)丁(三七八五五)五FGB 中望(上望)

六一九 (陸軍ヨリ受)

電〇九七三六 作概〇

昭和五年六月廿五日



船舶輸送地區隊長

通電先 威・振武・虎・鐵・キン・ユグチ・翼・シユン

參考 次長

尙武參電第七二四號 其ノ二三

其ノ一部ハ我ガ配備ノ間隙ヨリ逐次滲透シ二十四日ニハ「サンタ

フエ」北方約二軒道路兩側高地ヲ占領ス

撃鐵ハ依然トシテ現在ノ線ノ確保ニ努ムルト共ニ是等滲透部隊ヲ

掃蕩シツツナルモ後方部隊ノ兵力僅少ノ爲徹底的ニ掃蕩シ得ズ戰

線ハ逐次北方ニ轉移スルモノト思ハル

三當面ノ敵ハ主力ヲ以テ本道西側地區ヨリ遮二無二

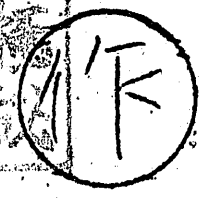
電信 平地本館進出ヲ企圖シアルモノノ如シ

發信局

(林部)

南

二〇六二二二 陸軍ヨリ接受 電一三二一三 作概〇



浦電先 次 長 ？

球 部 隊 參 謀 長

球參電第六四八號

六月二十日ニ於ケル狀況

通信連絡殆ド杜絶シ各兵團ノ狀況不明ナルモ摩文仁ヲ中心トスル地區ニ於テ昨十九日報告伊原ノ東半部ハ敵ノ奪取スルトコロトナリ戰車約一〇輛、砲三門ノ敵ハ

「電註 以下ニ通未着」

第二十四師團司令部附近本朝尙組織的戰闘ヲ續ケ「電註、二語不明」ラシキモノニシテ其ノ各部隊ハ依然新垣北方高地眞榮里東方高地眞壁北側高地附近ヲ各中心トシテ選定中ナルモノノ如シ 敵機ノ活動本日は極メテ低調ナリ。

(小林)

六 三二 (陸軍ヨリ受) 電一〇二一四 作稿〇

特別緊急

「那覇」 球部隊參謀長



次 長



球參情電第七二六號 (電 註 一部未着ナルヲ取敢

メ配布ス)

十六日地上戰況

右翼方面ニ於テハ第六十二師團主力ヲ以テスル對突破策ヲ敵ノ晝夜
ヲ分々ザル猛砲 爆ニ依リ意ノ如クナラズ
本夕敵ハ六五、四ヨリ一〇八、七附近ヲ經テ眞榮平東方一〇〇〇米
ノ岩山及一五七、六附近ノ線ニ進行シ。
一電 註 本電以下未着)

(新井)

6~23

六

至急



二三

受信〇二二一
開始〇四二一

譯了〇五二〇

電一一一七七
電一一一七八

航作
概本〇

廿四日

● 申良航空基地

● 天航空部隊戦闘概報着信艦所

機密 第二二〇六〇八番電 三分ノ三

第九三一部隊戦闘概報第四二號 (六月二十二日〇五三〇)

一 菊水十號作戰

沖繩周邊艦船 (雷艇ノ爲天山五機一一五〇ヨリ二二二〇迄ノ間ニ
申良發進〇五三〇迄ニ二機歸着)

(1) 〇〇五〇殘波岬北東海面ニテ巡洋艦雷艇火船ヲ認メタルモ戰果
ヲ確認スルニ至ラズ

(2) 〇一〇〇古志岐島西方海面ニテ巡洋艦雷艇セリ後雲ニ入り戰果
ヲ確認スルコト能ハザリシモ命中略確實ナリ

三〇八二二〇三三 呂一B (七八七五五〇) 一〇〇放筒并・相同 (其月)

()

W 一機ヨリ氣象六ヲ發信〇二三四頃連絡絶エ消息不明

U 二機ハ夫々〇三三四及〇一〇八連絡絶エ消息不明ナルモ攻撃

ヲ實施セルモノト認ム

天候 沖繩附近曇 雲量一〇 雲高一〇〇—五〇〇米 所々雨
視界二哩・

(電信課註 本電三分ノ三未着)

(二)

Handwritten mark resembling a stylized '7' or '9'.

六二三
受信 〇〇五五〇〇
譯了 〇六五五
電 一一二三二
作概 〇
航本
至急



天航空部隊戰闘概報着信艦所

良航空基地

機密第二二〇六〇八番電 三分ノ三

美大島及臥蛇島西方海面各六〇哩附近ハ曇雲量一〇雲高五〇〇所々
雨視界二哩高度二〇〇〇米以上飛行ニ適ス其ノ他概本天候良好
三殘波岬附近ニテ指揮官機ト認メラルル大火發ニヲ認ム全コース夜戰
ナシ及地上防禦砲火熾烈

電信課註 本電三分ノ一三既配布

通一二四七二 呂一Bケ十二(七八七五KC)一KFG B 東(岩崎)

昭和二十六年六月廿四日

六 二三

受備一四四五
譯始一六一五

詳了一六四五 電一三三四六

航作概本

石垣島警

東通・聯合艦隊尸・高通

佐通・宮古島警・基隆防備隊



機密第二二〇七一〇番電

二十一日戦闘概報

一〇六五〇ヨリ一八二〇迄敵 戦爆聯合計八五機三次ニ百リ來襲

陸海軍飛行場ニ銃爆撃ヲナス 一〇四五ヨリヨ一三四 一機一

時間半ニ百リ本島周邊偵察ノ後南西ニ退去ス

二〇七四〇ヨリ一二二〇迄ニアリテハ浮上潜水艦一隻南東海面距

離二万米附近ヲ游弋東方ニ見失フ。

通二二六九一 オ一七(一〇四〇〇) 佐通

阿部(田中)

昭和廿六年六月廿四日

6-22

1798

六 三二 受信一四五〇 譯了一七一〇 一〇八八三 作概〇・航本
譯始一六三〇

作

九

空襲部隊 情報報告信艦所

九空襲部隊指揮官

機密第二二一二四六番

九 A B 偵察速報 (六月二十二日) 彗星一機宮古島東方敵機動部隊偵察

一〇 九四五地點「ノレ」空母四巡洋艦又ハ驅逐艦九針路南西速力

不明 (偵察高度五〇米)

二 天候敵發見地點附近薄曇雲量六雲高一〇〇〇視界三〇溼度々「ミスド」

アリ石垣宮古間天候快晴

通一二〇九五 呂一B 夕一二(一一三四七・五船) カニ夕谷

村尾 (深見)

昭和廿年六月廿三日

作

急 六二二

受信二二三〇

二二三 丁一〇〇〇 電一一二六四

航概〇 本

六航空軍戦闘概報着信處所

共

符

機密 二二二一三一五番電 二分ノ一

二十二日拂曉時攻隊一二機ヲ以テ敵機動部隊及「沖繩島南部」周邊ノ敵艦船ヲ攻撃ス 傍受ニ依リ〇八一五乃至〇八三〇ノ間十一機突入ヲ報ス(内Bニ二機)

東通註 開始符不明ニ付遅延ス
電信課註 本電二分ノ二既配布ス

通一二二七九 呂一Bケ十二(九八三〇K) 佐二放 伊藤(吉井)

1800

6-23

7

緊急

六二三

受信開始 〇〇四二〇〇

終了 〇五二〇

〇一〇一六三

作航本〇

共符

六航電機機務通信所



機務部 二二二二二二二二二二二二二二二二 二分ノ二

昨二十一日薄暮攻撃ニ於テ直轄戦闘機(四式機)十機奄美北端ヲ達
航中敵夕ラン四機ノ奇襲ヲ受ケ三機自爆戦果僅ニ一機尙昨二十一日
ノ薄暮攻撃ニ關シ時情ニ入りタル戦果左ノ如シ〇一機破リ一機上ノ
部一始端ニ一スル一機沈。

通信保証 本電三分ノ一未達

第一二三二五〇 呂一Bケ一二(九八三〇KG) 佐二放、高橋(岩備)

昭和十一年六月廿三日

六 二二 度信一九二三
記始二一〇五

款了二二〇〇 電二二五七

共 件

謀通

昭和廿年六月廿參日

丁情報着信概所

機密茅二二一四〇六番電 四分一

丁情報才二三号 (六月二十五日)

一 五月二十四日以降沖繩局地通信系(四四二〇比)ニ出現セザリシ

機動部隊隊名符(乙三V乙七V)ハ六月二十四日該系ニ出現

セリ乙三Vハ六月十四日十七日レイテ放送ニ出系セルモノナリ

尚捕虜訊問ニ依リ五月二十二日三八機動部隊才四群ハ

ウルシ島ヲ出惠二十六日沖繩ニ到着セル狀況アリ

二 六月上旬末

通一三三三 呂一〇丁上(七八七五比)一トFGB故

田中(五島)

6-22

昭和廿年六月廿三日

六二二 受信二〇七三六 了二一〇五 電一一一五八 謀通

至急 共 符

情報着信艦所

機密第二二一四〇六番電四分ノ三四

四分ノ二

機動部隊宛ノ沖繩方面(七)發信(氣象電報ハグアム放送ニカカレル處十九日以後再ビ沖繩局地通信系ニカカリアリ

三沖繩方面海軍哨戒部隊指揮官(三LP)宛キンハ二十一日三

長官及機動部隊指揮官宛轉送セラレアリ(尙二十日同種電報ハ

四V(三)旗艦)及六WP(在沖繩RDB)轉送セラレアリ

四分ノ四

三二十一日二一〇五艦種不詳(BARRNDOR)大破危急ニ類

シ航中二十二日〇三〇七沈没セリ

通三一八四二一六二 呂一Bケ十二(七八七五KO)一KFG放

田中 (秋葉) 林

四二十一 〇五輸送船ト推定 (ALBERT) 撃沈
 計撃沈艦種不詳一隻ト一撃破艦種不詳一電探哨戒艦一ヲ傍受
 セルモ二七一六四ハ攻撃時間ヲ混信 (陸軍電波) 空中状態不
 良ノ爲傍受困難ナリ。

(電信課註 本電四分ノ二三未着)

(=)

手印

至急

六二三

受信 〇〇三六
譯始 〇三〇〇

譯了 〇三五〇

電 一一〇七七八七

航作 本〇

大村航空基地

二七航戦

天航空部隊戦闘概報着信艦所・横道

機密第二二一八三五番電 二分ノ二

通報 第七一航空隊司令官

三四三空戦闘概報 (六月二十二日)

一、菊水第十號作戦ノ制空隊トシテ 〇八〇〇紫電五〇機發進 一〇〇〇機

美北方ニテ敵 F4U 二〇機ト交戦 一二〇〇迄 二四〇機 一六三〇迄

二、更ニ四機計四機歸着

三、戦果 撃墜 F4U 七機 被害自爆ノ算大ナルモノ一機 未歸還機

(寶島北ノ海上ニ不時着ノ算大戦闘第四〇飛行隊長 林大尉ヲ百ム)

通 一三三七五
二三四七五
ロ一Bケ十二(七八七五KC) 一KFG B放

鈴木・相

昭和廿年六月廿參日

被彈一機（修理可能）其ノ他不時着時中破一機（投乗員無事歸還）
三所見 最初發見セル小敷機ノ敵ニ捉ハレタル爲初メ集中混戦ニ陥リ
タルハ嚴戒ヲ要スル所ナリ。

6-23

908T

人

六三三 受領開始 〇〇八〇三五 電 丁一二〇〇 電 一一二五六 作機 〇

作戰特別緊急

宮崎空基地

天航空部隊戦闘機報告信艦所

機密第二三〇三三一番電 二分ノ六

七六二部隊戦闘機報告第二二二號(六月二十二日)

沖繩周邊敵艦船夜間攻撃

一、七〇六機(内二機照明)二〇二〇宮崎航空基地發進沖繩西方海面ニ於テ照明雷撃ヲ實施シ機二三一五粟國島北方艦種不詳一隻魚雷中大火柱確認一機二三二五北中飛行場沖艦種不詳一隻(對空砲火響メテ熾烈)轟沈確認一機故障引返一機戰場到達後連絡ナク未歸還僚機二機八二三三〇戰場ニ於テ火災自爆スル機種不明機ヲ認アリテ本機ハ二一五泡ニ五機歸着

通 一一二五〇一三〇 日一B少一二(七八七五KG)一KFG 放 小(久保田) (2)

昭和二十六年六月廿四日

二、戰果艦種不詳九隻轟沈同一隻魚雷命中大火柱
三、被害被彈小破一機未歸還一機

6-24, 25

808T

六二二四 受信
二五 譯始〇一〇三〇〇

譯了〇一三〇 電一二〇四一

航作 本概〇

昭和五年六月廿五日

WP

七二空襲部隊戰鬪概報着信監所

檢密第二三〇六一五番電 四分ノ一

七二A B戰鬪概報第七號 (六月二十二日)

・ 殖水一〇號作戰神雷直掩隊〇五三〇ヨリ〇六〇〇ノ間計六六機發進

途中ヨリ二五機引返ス

四一機沖繩附近ニ進行敵P大F延ニ〇機P一三八 一八機カ一四七

〇數機ト交戦一五〇〇迄ニ計二七機歸還。

〔電信課註 本電四分ノ三、四未着〕

通一三三四七 呂一Bケ一二 (三九八五KC) 七FG B放

新倉 (小幡)

作

六二二三 受信一八三〇〇 譯始一八三〇〇
 譯了 一九一〇 電自一一三六六
 電至一一三六七 航作機本〇

七二空襲部隊戦闘概報着信鑑所

共 符

機密第二三〇八一五番電

四分ノ二三三四

七二A B 戦闘概報第七號 (六月二十二日)

一、菊水一〇號作戰神雷直掩隊〇五三〇ヨリ〇六〇〇ノ間計六六機發

進途中ヨリ二五機引返ヌ如一機沖繩附近ニ進行敵P六F延二〇機

F四U一 一八機 P一四七 一〇機 敵機ト交戦一五〇〇迄計二七

機歸還戦果撃墜P六F一 一 P一四七 三 (内一機不確實)

P四F一 一 三 (内一機不確實) 撃破P一四七 一機 被害 未

歸還九機 (内數機他基地ニ不時着ノ算アリ) 大破二機 中破三機

被弾一機右ノ外種子島ニ機出水二機大村一機不時着シアリ

通一二五六八・一二五七四 呂一Bケ十二(七八七五回)一KFG B放
 一二六五七・一二六五八 新倉・長谷川
 丸山・山谷

(五) 谷 (一)

昭和廿六年六月廿四日

三、菊水一〇號作戰特攻隊ニ關シハ三四三空戰闘概報所報ノ通

三直掩隊ノ目撃セル神雷攻撃隊ノ狀況左ノ如シ

(イ) 一番機〇八一〇那覇北西上空ニテ櫻花投下セルモ密雲ノ爲戰果不明空戦ニ依リ母機ヲ見失フ

(ロ) 二番機〇七五五伊江島上空附近ニテ空戦開始セル爲雲中ニ見失フ

(ハ) 三番機〇八三〇頃伊江島附近海上ニ於テ〇三隻ヲ發見接敵中敵

機六〇一―二機ノ奇襲ヲ受ケ火災墜落

(ニ) 四番機直掩隊ニ合同多得ザリ爲不明ナリ

四〇九〇七ヨリ一〇〇〇迄零戦五機ヲ以テ鹿屋地區上空哨戒實施敵ヲ見ズ。

機密第二三〇八二七番電

作

六三三 受信一四五 誤始一三〇〇 訣了二三四五 電一二八三 作概

共符

天航座部隊戰鬥概報着信艦所

機密第二三〇八二七番電

TFB 戰鬥概報(六月二十三日〇八〇〇)

一 沖繩泊地艦船攻撃、為重爆六枚、二十三日〇一〇迄ニ發達

同二三三〇頃迄ニハ攻撃終了、戦果艦型不詳、一隻轉沈同

一隻魚雷命中、大火柱確認、被害未歸還一様

ニ更ニ水二様ハ二十三日夜ヨリ二十三日早朝ニ亘リ、刺海索敵敵

ヲ見ズ。

通一三五六七 呂一〇八十一二三四七五七(カ)各 高橋(林部)

昭和...

六二三 受信一四二五 譯了二七二〇 電一三三四四 作機〇

緊急

大島防備隊



天一號作戰部隊

機密第二三一二一八番電

一昨夜二一〇〇頃及〇三〇〇頃敵機各二機來襲島内各所ヲ銃爆撃

被害ナシ

三〇六〇〇頃夜リ午前中殆下間斷ナクP四〇一又ハP四七四

機乃至八機本島周邊特ニ西方及南方ニ行動スルヲ認ム内P四〇一

一四機阿波灣攻撃被害ナシ一〇〇頃P三八二機高度四〇〇

〇ニテ本島上空ヲ旋回スルヲ認メ寫眞偵察機ト認メラル天候曇雲

量八 雲高二二〇〇。

通一二六二四 呂一Bヶ十二(七八七五KG) 一KFGA放 伊藤(田中)

六二四日

1813 625

六二五 受信開始 〇〇五三三八 譯了 〇六一〇 電一 二〇〇四 航本概 〇



東通 聯合艦隊 佐鎮 高警 石垣島 警 官古島 警

機密第二四二一四一番電

二十四日戰鬪概報
〇〇五〇敵戰鬪機一機海軍飛行場銃爆撃 〇六五〇 P 三八ノ誘導スル
艦上機三二機ニ依リ飛行場附近航過爆撃一九三五艦上機本州北西海面
ヲ西ヨリ東へ通過戰果被害ナシ

通一三四六八 另一部 十六(四七〇五) KC (高通 日野源(森田)

昭和六年六月廿五日

6-25.26

南天



六二五六 受信二三〇五 譯始一〇二〇

譯了一三三〇

電自一二八九四

航作概本
參本

聯合艦隊口・五航空艦隊口

共

符

二五一〇五一〇

通電先

參謀次長 聯合艦隊 西部軍 航空艦隊 豐進

シ總 (ウキガケ)

臺參情電第六二〇號其ノ一二五六

昨二十三日一九三〇「臺北」基點三四度二六〇分機動部隊情報ニ關

シ左ノ如ク搜索セルモ敵ヲ認メズ

本二十四日〇二四〇一〇四三七(二式戰鬥機)臺北基點九四(六

六)三〇度二〇〇分九〇度三〇分二〇〇分二〇〇分四分二二

〇度三〇〇分

三〇三〇〇一〇五〇五(司偵)以下其ノ五六

四〇五三三七度一三〇六分六秒(司偵)一九度三七〇分一二五度二二〇分

通 一三三八五九四 一三三八九二 協作(四七〇五九)高通 小森(小澤)

昭和廿年六月廿七日

6-26

天

人

作戰緊急

六二六

受信一六四六一

譯了二〇〇一

電一二七〇九

航作概本〇

宮崎航空基地

天航空部隊戰鬥機報告信盤所



機密第一六〇五四〇香電

七六二部隊戰鬥機報告第二三號(六月二十五日)

一沖繩周邊敵艦船ヲ攻撃 攻擊機五〇一飛行隊銀河五機三〇〇〇一二

二四五宮崎基地發港三機ノ内一機ハ〇〇五七我突撃ニ轉ズヲ報ゼル

以後一機(二二三)ヲ發港ハ、〇〇一七連絡セル以後消息ヲ斷テ未歸還

三戰果不明

三被擊銀河二機未歸還

清一四一九五

呂一五々十二(七八七五KG)一五五五放

坂本(上野和)

昭和十年六月廿七日

6-26

天 天

作戰特別緊急

六二六

受信一二二八
開始一二三七

譯了一二四〇

電一二六〇五

作概〇

久米島見張所



- 佐領區敵情着信艦所
- 大島防備隊

機密第二六〇六三〇番電

敵上陸ヲ開始セリ 久米島東海岸

通一四一四五 於一五(九八三〇)佐二放 武藤(久保田)

昭和廿年六月廿七日

六二七

受信三四〇
言始八〇〇

譯了八三〇

電三四五五

作概

昭和廿年六月廿九日

作

着

天航空部隊概報着信解所

共

符

機密第二六八〇〇卷重 四合

(回) 基地爆撃手 作北島飛行場 攻撃手七八一三機 役設卓燈中
1 洞走路直通撃手 炎上一箇所北飛行場 攻撃手七八一二機 初果不

明
(イ) 水偵特攻八機 水爆六機 (船攻殺手) 陸攻七機 (基地攻撃手) 攻撃手狀
況後報

三被官
銀河三機 天山一機 未歸還(擊墜) 一機被彈着陸 叶大破 天山一機不
時着水 何し 天橋乘員無事。

(ア) 電探機注
通一四五二 本電四分一三三末着(一)
呂一四三三(九三〇) 伍二放

清水(帰月)

6-26

作

看

天航空部隊作戦命令看信艦所
靠枝航空基地

機密第二六八四八番電 三分六三

六二六 愛信 一四四三 譯了 〇三〇 愛 一三四五 作概
緊急 譯始 一六二五
◎ 山石川 航空基地

昭和廿年六月廿九日

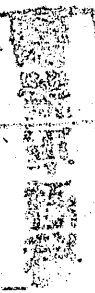
此等雲天候不良為沖繩攻圍實施其自視也敵夜約一〇
機(内P-1)之(含)敵夜或相商執拗三追躡ヲ續ケ約五〇哩(距離)及下
其射擊技術又侮此力大敵果夜間點燈中滑走路三回撃ヲセ
機(内P-1)三機炎上三機墜隊(伊江基地)被害一機大破一機搭棄
身(無事) 設字並ニ飛機ヲ作業ヲ實施シ
敵基地燈火管制ヲ實施スルコトヲ 設字並ニ飛機ヲ作業ヲ實施ス
中域海三三型舟艇約三〇隻察集何モ煙幕ヲ展張ス
五天候存美大島以南半晴ナルモ屋久島附近層雲ニ降雨ヲ認ム
以後晴天ナル (東通註 本電ノ四番機係電照多ク遲延) (三三註 三番機係)

四二二六 呂一五七三三(七五九)一六下

岩川(四)

六二二六 受信一四二六 歸了二〇一五 電報一二七四九 制作本〇
緊急

天 航 空 部 隊



電報二六〇九一六 發電二分ノ六二

六三三部隊職員統制(二十五日)

一 理雲六機二〇〇〇機島發進二一三〇古仁屋着水時追及ノ爲ニ機頭發

〇〇〇〇 四機古仁屋發進沖繩運送機頭發進機内一機故障ノ爲又機ノ

一機ハ機頭ノ追及妨礙ヲ受ケ攻撃ノ機ヲ失シ引返ス

三 機長 名護海側軍機一機ニ二十五番一命中大爆發轟沈

四 機長 古仁屋ニテ機頭大爆發セシモ同搭乗員無事 未詳

機ノ狀況左ノ如シ

第一機一五九 第二機一B分十二 (七八七五機) 一KFGB機 (同機)

昭和廿年六月廿七日

伊平屋列島伊江島間ニ約二〇隻ノ集結セル艦船アリ

(ロ) 名護灣艦種不明大型三中二輸送船二八

(ハ) 夜戰ノ妨害執拗ト煙幕展張ノ爲視認困難トニヨリ一時間程搜索

ヲ實施セルモ攻撃困難。

(二)

6-26

六二六 受信二〇〇五〇〇 譯了二一四〇 電二二七六六 航作概本〇

作戰緊急

指宿航空基地

天航空部隊 作戰命令着信艦所



機密第二六一〇五八番電 二分ノ一二

發 福山空司令

十二航戦二座水偵除戰闘概報(二十五日)

二〇一〇ヨリ二二一五迄ニ九機發進(二機編隊内電信機裝備二機)那

爾沖敵艦船攻撃〇〇三〇天候不良ノ爲一機引返〇二〇〇頃臥蛇島附近

ニテ夜戦ノ追躡ヲ受ケ古仁屋ニ不時着セルモノ一機〇三〇〇再ヒ古仁

屋發進セルモ德之島附近ニテ夜戦ノ追躡ヲ受ケ〇四〇〇古仁屋ニ不時着

今夜攻撃ノ豫定 戰果通信狀況ニ依リ戰場到達概ネ確實ト推定セラ

ルモノ一機編隊アルモ其ノ他不明。

通一四三二八 呂一Bケ十二 (七八七五KC) 一KFGB放 林 牛島 (阿波)

昭和廿年六月廿七日

菊名

六二七 受信始 〇〇四三六一 丁〇六二八 電一二二九六六 作本〇

至急

天航空部隊機着信所

申良 航空基地

機密第二六一六〇二番電 二分ノ二

被九三一部隊機機密第四三號 其ノ二 六月二十六日一四三〇

雷部隊機機密第四三號中ノ未出機二機中一機ハ〇四一五機波脚ノ北西九〇度雷撃ミスト深キ爲機米ヲ確認シ得ザリシモ命中略確實天候不良ノ爲〇七〇〇米布米基地往復航行機之ノ南西一〇〇度附近ニテ小型機旋ラシキモノ(計六)ニ砲撃ヲ受ク一機ハ〇三一〇度南西北東一〇度ニ於テ暗滅ニシテ機體不明ナリ天候不良ノ爲〇四三〇上別府基地着〇〇二八八機機ノ指二〇度ニ於テ機夜通一四四四一五 自一日ケナニ(七八七五) 坂本(一) 米光(一) 田(一) (一)

機一機ヲ被見〇二四五ヨリ約三〇分間? 中飛行? 沖ニ於テ被夜
 (双) 約八機ノ軌跡ナル追「ヲ受ク一五五〇迄ニ全機歸着被善ナシ
 跡

①

6-26

天

六二六
緊急

受信一九四五
譯始二一〇〇五

譯了二一四二

電自一一二八七〇八

作概〇

符

先遣部隊

機密第二六一七三三番電

三分ノ二二三三

陸軍総合情報 第九五號

沖繩方面海軍主力ハ六月十三日陸軍主力ハ六月二十日最後ノ突撃

ヲ敢行殘存部隊ハ尙激戰中ナリ

六月二十六日來敵ハ久米島ニ上陸セリ

〇二四〇地點ヘム〇四一二於テ敵機動部隊ヲ羊燈火ヲ發見セルモ

其ノ後ノ動靜不明

四通信諜報ニ依レバ

(1) 二十三日南西諸島ニ有力ナル部隊到着セルモノノ如シ

通

一一四四
三四二二
〇九九七

口一八一二(五二九五) 吳通

六放

伊藤(久保田)(1)

昭和廿年六月廿七日

(四)二十日以降マリアナ方面ノ直接交信極メテ嚴重ナリ有力部隊

行動中ノ算アリ

(五)三〇チ主隊トスル部隊ハレイテニ所在スル算大ナリ

五二十三日陸軍輸送機ノ発見セル東海ノ機動部隊ハ其ノ後索敵セル

モ発見スルニ至ラズ

六最近マリアナノB-I二九ハ中國方面ノ中小工業都市ニ攻撃ヲ指

向百數十機ニテ概ネ午前來襲スルヲ常トス

(2)

6-26, 27



六
二七
受信〇二四七
譯了〇一四〇
電自一二八四一
航作概
〇

天航空部隊作戰命令着信艦所

機密第二六一八〇〇番電 四分ノ一二三四

TPP 戰國概報（六月二十六日一六〇〇）

二十五日彩雲一機〇九三二發進沖繩周邊偵察並列島線東方海面索敵
實施中城灣内戰艦一大型輸送船三〇中型輸送船五小型輸送船一五ヲ
報告後一三二七以降連絡ヲ絶チ未歸還更ニ午後百司偵一機沖繩周邊
偵察ノ爲發進セルモ故障ノ爲引返

白菊特攻一四機（内故障ノ爲七機引返）水偵特攻八機ニ依ル沖繩周
邊艦船攻撃ニ策應夜戰八機陸攻七機二十五日二三〇〇ヨリ二十六日
〇一三〇ノ間基地ヲ制壓更ニ銀河五機（内三機故障ノ爲引返）天山

通 一四三六五 一四四〇四 口一八二二七八七五 RC 一 K F G B
一四三六八 一四四〇五
田中（久保田） (1)

昭和廿年六月廿七日

銀河二機天山一機未歸還彗星一機
被彈着陸時大破天山一機不時着水何
レ搭乗員無事。

三機水爆八機常續的沖繩周邊艦船攻撃並ニ夜戰五機奄美附近ノ夜間
制空ヲ實施

戰果

(イ) 艦船攻撃白菊七機(電信機搭載機五機)中三機輸送船ニ突入一

機我今ヨリ攻撃ニ轉ズヲ報ズ敵艦ニ依レバ敵夜戰ノ妨害極メテ

勦ク大部ハ概テ確實ニ突入セルモノト認ム銀河一機我突入ニ轉

ズヲ報ゼシモ其ノ後連絡ヲ絶ツ天山一機巡洋艦雷撃セルモ効果

不明

(ロ) 基地爆撃作戰ヲ實施飛行場攻撃セルモノ三機内二機夜戰點燈中

ノ滑走路ニ直撃炎上一箇命中彈ヲ得ズ北飛行場天山攻撃セルモ

ノ二機効果不明

(ハ) 水偵時攻隊八機水爆六機(艦船攻撃)陸攻七機(基地攻撃)攻

撃狀況後報

被害

銀河二機天山一機未歸還彗星一機被彈着陸時大破天山一機不時着水

何レモ搭乗員無事。

6-28



六 二六 受信一三四二〇 譯始一三四〇 譯了一三四二 電一二六五三 作概〇
作戰特別緊急

● 佐領部隊。佐世保防備隊

● 久米島見張所

機密第二六二八二〇番電

久米島戰團員指揮官

鹿山兵曹長以下六七名（内當部隊下士官兵六名軍團二名不時着搭
乘員三名陸軍軍人二〇名軍團一〇名（含△）。

通一四一九三 於十五（七八七五RO）一KFGB放

望月（淺岡）

昭和廿年六月廿七日

六三〇 受信〇一〇〇八 譯了〇三五五 電一四 二九八

航作概〇
本本〇

昭和十年六月參拾日



- 東通・聯合艦隊P・佐銀P・高警P
- 石垣島警備隊
- 宮古島警備隊

機密第二九二〇三二番電

二十九日戰鬪概報 〇七〇五

敵艦上機三五機陸軍飛行場ヲ一航過銃爆撃〇一〇〇〇三〇〇爆音一二
 一〇三機近接セルモ浸入セズ北東ニ去ル最近敵ハ爆撃ニ先立銃撃及空
 中炸裂爆彈ヲ使用地上火器ヲ制壓スル戦法ヲ執リツツアリ本日一番飛行
 機ヨリノ報告ニ依レバ敵炸裂彈ニ依リ二番機空中分解木葉微塵トナル
 二〇五〇夜戰四機來襲飛行場コースヲ銃爆撃。
 通一六〇一六 呂一Bゲ一ニ(四二二〇E)高雄 佐藤(金森)

6~30
7~2

1830

昭和廿年七月廿日

六三〇 受信二二二〇〇 譯了二二〇〇 電〇〇八四四 譯通

七 緊急

聯合艦隊P・五航空艦隊P

高雄通

三〇一〇四一〇

臺參情第六五一號其ノ一

B 判別情報

沖繩方面 敵狀況二十六日以降沖繩ヲ中心トシテ沖繩周邊一般

艦船ノ移動集結狀況活潑ハ重トシテ沖繩作戰ノ重大ナルニ伴

本島周邊局部的 撤収及艦船整理並ニ補充交代スベク沖繩ヲ

基地トシテ。

東通誌 本電開始符不明ノ爲遅延

電信課誌 六電其ノ三四五既配布。三及六以下未着

通二六四三七 協作(六七BO) 佐二放 浦部(淺岡)

7-1



緊急

七 一 受信 〇〇一〇四〇〇 譯了 〇二〇〇 電自 〇〇〇五七八〇 謀 通

聯合艦隊口、五航空艦隊口

高 通

三〇一〇四一〇

尊參情電第六五一號其ノ三四五

直ニ上陸計畫企圖ナキモノト判断セラルルモ高速輸送艇ハ數日中ニ完

了スベク爾後企圖ニ關シテハ他方面ノ動向トモ關聯シ警戒ヲ要スルモ

ノト觀察セラル 戰鬥概報二十一日日没後新呼名(補給關係ト徹底的

犧牲者續出シアリ)二十一日一二十四日六一七隻以下其ノ四五)

四 津 繩 哨 戒 機 八 二 十 七 日 ヨリ 活 廢 化 シ 作 戰 開 始 以 來 最 高 ヲ 示 セ リ 二 十 七

日二三機(津)二六機(近)二十八日一九機(津)一四機(近)

五 二 十 九 日 早 朝 來 邊 戶 崎 一 與 論 島 間 三 隻 主 隊 ト シ 哨 戒 實 施 地 區 間

六 二 十 二 日 來 逐 次 移 動 開 始 南 部 地 區 一 隻 主 隊 ト シ 哨 戒 實 施 地 區 間

運 衛 艦 船 一 揚 陸 用 主 上 一 移 動 多 シ

一 一 六 三 二 二 八 協 作 一 四 九 三 〇 五 KOKC 一 上 海 行 出 (小 澤 機)

昭和十年七月式日

7-1

七 一 受信 〇〇一五〇
開始 〇〇一五〇

了 〇一四〇 電 〇〇〇八四

航作 概 〇
本 〇

石垣 管備隊



東 通。高 通。？
佐 通

機密 第三

二十九日 戰鬪 概報

六〇一一五敵 小型機二 〇三三五 一機來襲 三〇分間 二回リ 上空 旋回

飛行場市街村落離島ニ緩慢ナル銃爆撃ヲナス

三敵浮上潜水艇一隻一七二五ヨリ一八一五迄二萬米附近遊弋偵察ノ後

南東ニ去ル

三最近數日來敵機ハ本島周遊五〇附近旋回哨戒嚴來襲閑散ナリ緊急

輸送實施上航路選定ニ注意ヲ要ス。

通四八 於一七(七四六五)上海 武藤(雨谷)

局長	一等長	A	B	E	J	G

昭和廿年七月廿日

7~1

426

七 一 受信一六〇五 譯丁一六五〇 電〇〇三三四 作 概

至 急

六航軍戰團概報着信艦所

◎

共

符

機密第〇一一三〇四番電

七月一日戰團概報

一 特攻四機ヲ以テ〇六一〇都城發進沖繩島南部周邊敵艦船ヲ攻撃セリ

戰團機一九機ヲ以テ右發進ヲ掩護傍受ニヨレバ突入狀況左ノ如シ

〇八二一 一機輸送船一機艦種不詳ニ突入〇八三一 一機驅逐艦ニ

突入

二 知覽飛行場ハ〇七四〇乃至〇八三〇ノ間B一五 八P一五一

一 四U一四P一三八 一ノ攻撃ヲ受ク戰果撃墜B一二五 一機

(地上火器)損害ナシ。

道三一五 口一Bケ十二(九八三〇KC)位ニ放 林(本田)

局長							

300

昭和廿年七月貳日

7-2

七十二 受信一三〇五 譯始一三五〇

緊急

譯了一六〇〇 電〇〇八八九〇

昭和廿年七月參日
作標本〇



天航空部隊戦闘標報着信機所

機密第〇二〇七三五番電 二分ノ一二

第九三一部隊戦闘標報第四四號(七月二日〇七三〇)

沖繩開港船攻撃ノ爲天山四機二二一八ヨリ二三二二ノ間ニ串良發進一機〇一四八機波岬ノ北約五浦ニ於テ巡洋艦(若ハ大型驅逐艦)雷撃戰果確認ノ爲一旋回セルニ機影ヲ認メテ發射ニ依リ爆發音ト伴察察沈略確實ナリ一機〇三四〇 專手納沖ニ於テ巡洋艦雷撃效果不明一機天候不良ノ爲引返宮崎經由歸投一機〇〇五八機場到達後相時刻ヲ報シタル後連絡絶

三消息不明

清八三一
八四九

呂一八ヶ十三(七八七五〇)一RFGB故

永井(七野知)

7~5

有西

人

七五

受信二八〇八

譯了二二二〇

電〇三二九二

至急

共

符

作機
艦政・軍需
戦力

昭和廿年七月八日



東通。佐通。高通。聯合艦隊口
宮古島警備隊

機密第〇五一四〇五番電 二分ノ一

發石垣島警備隊司令

宛 高雄警備府參謀長 佐藤參謀長 G F 參謀長 軍令部第一部長

通報艦政本部總務部長 宮古島警備隊司令

當為三月二十三日以後殆下補給ナク七月一日現在糧食四千人一ヶ月

半分對空彈藥十二纏高角砲一月三〇發。

「電信誤送 本電二分ノ二未着」

通二七九四 呂一Bケ一二〇九四一〇KC 高通 増田 (田)

7-10

至急

七 一 〇

受備開始 〇四三〇五

譯了 一三一五

電電 〇五一一三八七

作 概 〇

昭和廿五年七月拾壹日



聯合艦隊司令部・第五航空艦隊司令部

共

符

九一二〇一五

其ノ一二

臺參情電第七〇〇號 其ノ一二

一、沖繩ノ周邊哨戒部隊ノ任務ニ關シテ 八日改命セリ

二、沖繩周邊現況機雷敷設艇出系ス

日情沖繩方面現狀 敵艦船ノ集結ハ増加ノ傾向

三、沖繩周邊飛行警戒ノ移動交流活潑ナルモノノ如ク且ツ「慶良間」

「金武」灣及「嘉手納」沖間艦船ノ交流アリ

(電信課註 本電其ノ三未着)

通五三七一・五三八四 高田、西原、久保田(森田)

7-10

483T

南の方角

至急

七一。受信。八二六
譯始一二三五

譯了一五五。電。五二九五
作機。

昭和廿年七月拾貳日

停

備

聯合艦隊。五航空艦隊。

共符

機密第。九二。一五番電

台參情電第。七。〇。号。其。三。

要地。七。七。号。港。揚。陸。二。使用。別。天。機。機。

人員。搭。載。セ。ル。疑。ア。リ。通。電。先。前。電。同。

（東通註本電誤字、為遲延）

（電信課註本電其一二既配布）

通五四九

協作（九四一〇）高通 米光（岩崎）

7-10

七 一〇 受信一七四四 譯了一九〇〇 電〇四九四四 航作 概〇
 譯始一八一五

緊急



天一號作戰部隊

大島防備隊

機密第一〇一十二三番電

一〇六五四 PBM-1 機 F4U-1 一二機 一〇二〇ヨリ 一〇二〇

ノ間大型機 (主トシテ B-124) 約六機 小型機 (P-138 P-147

F4U-1) 約一六〇機 西方 海上ヲ北上

三一? 一五一五 P-147 三機 大島港内 銃撃 戦果 被害 ナシ。

通五六八一 呂一B 十三 (五二九五KG) 六戸放 日野原 (呈 見)

昭和廿年七月廿五日

7-10, 12

七 一〇 受信二〇一〇 譯了〇五三〇 電〇五六七九 作高〇
 二 二 譯船〇四一五 〇五六八〇 航本



機動基地航空部隊・大島防備部隊下

喜界航空基地

機密第一〇一七二〇番電 二分ノ一、二

一、二、三、五 P I 四七、六、二七〇度ニ見失フ

二、一、三〇五ヨリ一四〇二迄 P 四 U I 二 二九機 P I 四七 二八 B I 二

四 四七(二七、一〇、一〇機三群) 一〇度乃至六〇度ヨリ竊襲飛

行場銃爆撃 戦果撃墜三機破二機(何レモ P 四 U I 二)被害調査

中滑走路使用不能

三、一、四、二〇及一四、五、五 P B M I 一各一機二四〇度方位ニ認ム A I 二五

P 四 U I 一 四機直衛下 P B H 一機南方海面旋回中(撃墜機搭乗員

救助ト認ム) 一五三〇 P 四 U I 二 四機直衛ニ P I 五七又ハ大型機

ニ依ル爆撃ハ本月初メテナリ。

通 六五七一七 呂 B ケ 二二 (七八七五 KC) G F G B 放 西岡(小澤)

7-11

七二 受信 〇二二三
談始 〇三一〇
談子 〇七〇〇
電 〇五二二一
〇五二二二
作機

大島防備部隊下

佐々

佐鎮口。天一号作戰部隊

機密 第一〇一八五五番電 二分一、二

六午後敵機、未發活潑化シ一二三四五ヨリ一五三〇迄、間P一四七計

七〇機、東襲主トシテ大島海峡東口方面特ニ待網、埼高角砲台

及皆通埼電探所ヲ執拗ニ銃爆撃シ其他力ヲシテ砲台諸銃

灣伊須灣沿岸等ヲ攻撃

三戰果撃墜確實八機、撃破六機、被害戦死兵二名、重傷下士官

兵六名、高射砲一使用不能、其他輕微ナル見込

三一六一〇頃 B1二五 一機海峡附近ニ傳單ヲ投下内容調査中。

一東通註 本電誤字多ク同文ニテ處理

通 五八〇〇

五八〇三 呂一C 十一三一九八三〇(ル) 佐二枚

原(新井)

昭和廿七年七月拾貳日

7~10

七一〇 受信二〇五七 開始二一四〇 了二二三〇 電〇五〇一二 作機〇

緊急



喜界航空基地

一機動基地航空部隊

機密第一〇一九〇三番電

一七二五 四〇一 九機 大島爆撃後 一機ト共ニ退去進行方向二四〇度

一八三〇

通五七四七 呂一Bケ十二八七八七五〇一五PQB放

西岡(猪狩)

昭和廿年七月拾壹日

7-11

七一一 發信一八四三 了二〇五〇 電自〇五四八三 航作 概本〇

緊急 大島 防備隊



天一號作戰部隊・佐領口

機密第一一一四〇三番電 三分ノ二二三

一〇六三二P四〇機〇六四三P一七 四〇六〇機〇七〇三小型機七

二機西方洋上ヲ喜界島方向ニ向フ 〇七二〇P一五二機阿鐵灣來北

双子島請島ヲ銃爆撃一〇〇七P四〇一 九機阿鐵灣ヲ銃撃

三、戰果被害ナシ 昨日ノ戰果ニ於ケル戰果中撃墜確實一〇機ニ訂正ス

三、一〇一二東方海上ヲ南下中ノP四〇一 四機ノ内一機及一〇五九京

方海上行動中ノP四〇一 五機ノ内一機海上ニ墜落スルヲ認ム

四、所見 昨日防空隊及 砲臺ガP一四七約五〇機反覆銃撃ヲ受ケタル際發

射彈數高角砲四〇發二五機銃六一一發ヲ以テ敵機ヲ確實ニ一〇機撃

斃 防空見張所ニ於テ擊墜地點ヲ確認セルハ成績美事ニシテ之ガ主

通六三一九六三〇 口一〇ケ十三(九八三〇) 佐二放 相澤(竹内)

昭和十一年七月拾五日

因ハ對空彈藥ノ缺乏ニ伴ヒ之ガ節約ヲ計ル爲對空機銃射擊制限左記
ニ準則ヲ設ケ之ヲ確實ニ遵守セル爲ト認ム

(4) 射距離一〇〇〇以内

(5) 一機ニ對スル一門一回ノ發射彈數五以内

(6) 自銃方向ニ向首シ來ル敵機ノミヲ射擊側射追射ヲナサザルコト

(7) 機銃障地ヲ要防禦施設ニ可及的ニ選定構築シアルコト。

7-12

停

七 一二 受信〇〇三四五六 譯了〇四一八 電〇五六五八 作 櫛

攻撃七〇二陸攻隊一小隊飛行機

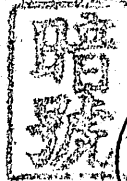
伊江島爆撃終了輸送船小型大傾斜

〇三二〇。

通六六二六 多八五 (三七八三五) 五FGB放 武藤 (土 谷)

昭和廿年七月拾貳日

7~12



七 一 二
緊 急

受信 一三〇四〇九
譯始 一三〇四〇九

譯了 一三〇五 電〇五七九五

航作 本概〇

種ヶ島 航空基地

五航空艦隊

機密第一二〇九〇二番電

通報 六航軍

飛行場修理完成 使用差支ナシ

通六七七五

於一七(七八七五機) 一 K P G B 故

清水(新井)

昭和廿一年七月拾陸日

7-12, 13



作戰緊急

七 一二 受信 一四二五
一三 開始 〇一五三〇〇

電 〇六〇二二

作機 〇
航本

昭和廿年七月拾參日

喜界航空基地

第一機動基地航空部隊・大島防備隊
種子島航空基地

機密第一一二二四五番電

通報 六航軍參謀副長・六航軍派遣通信隊

一〇三一五大型機懸香上空通過南西二向

二〇七一五B I 二四 五機針路 北京〇七四〇F 四U I 二 四機

P B M I 一 一機針路南 〇八二五P B M I 一 一針路一〇一

〇F 四U I 二 三南西一〇二五B I 二四 一南西一一〇五F 四

U I 二 八針路一一一〇西一一 〇F 四U I 二 八針路北北西

一一一五B I 二四 三二P I 四七 一四飛行場及周邊地區爆擊

三戰果被審査中一一

通六八〇四 呂一B 夕十三 (七八七五K) 一K F G B 川本(來)

7-12

七二二

受信一五二九
譯始一六一〇

露丁一六四五

露〇五九〇八

航作
本〇

作戰緊急

停

① 一 航空基地航空部隊。大島防備隊
② 種ヶ島航空基地

③ 真界航空基地

機密第一二一四二六番電

通報 六航軍參謀副長 六航軍派遣通信隊

一三二二八・一三〇二。一三四五ヨリ短時間二四〇度乃至三〇〇度ニ爆
音ヲ聞クノミ、戦死兵二名輕傷兵七名滑走路使用差支ナシ。

通六八五〇 呂一Bヶ十三(七八七五IC) 一 KFGB放 稻岡(土谷)

315

昭和廿年七月拾參日